

よっ葉だより

2024年
6月24日号
No.795

～地産地消～
いのちと健康暮らしを守る
よっ葉生活協同組合

「持続可能」から「永続可能」へ—よっ葉生協は更なる高みを目指します—

組合員と生産者で共に進めるよっ葉生協の農産物
地産地消とオーガニックを軸に永続可能な「食」「農」「環境」を

このフレーズをどこかで目にしたことはありませんか？
くらら6月3週の2～3ページに掲載していました。
よっ葉生協の農産物は8つの取り組みを進めています。

- ①独自の農産基準をもとに商品を選定しています
- ②地産地消を推進します
- ③有機農業を進め、人と地球の健康へ貢献します
- ④脱ネオニコチノイド系農薬をすすめます
- ⑤産直—つながらること食を守る提携を築きます
- ⑥国産農産物を扱います
- ⑦新規の有機農業者を応援します
- ⑧余剰農産物を有効活用します

あらたに2つの取り組みを進めます。

- 昔から日本で栽培されてきた種(固定種)を守ります
 - 環境再生型(リジェネラティブ)農業をすすめます
- 地球規模での異常気象で、

食が毎年不安定で先の見通しがつかない状況が続いています。収穫の不安定は産農につながらり、価格の高騰にもつながります。私たち消費者にとって一番の心配、不安なことは日本の食料の自給率の低さです。地球規模の自然災害は国を選ばず、石漠が洪水により熱帯地域が干上がり、森林火災が起っています。

いのちの永続的なつながりをつくり出すために

先々のことを考えてつなげる行動を今進めていきましょう。輸入原料を使わず国産でまかなうことが自給率を上げ、農家、生産者と消費者が共存する橋渡しになります。

組合員と共に取り組むよっ葉発

産地との提携(取り組み⑤)

長野県のアップルファームさみずとの「ネオニコチノイド系農薬不使用りんごオーナー制度」は今年で10年。農家さんは5名に、オーナーの組合員は2636名 3841口にも増えています。

有機農業者の支援(取り組み⑦)

新規の有機農業者への支援はよっ葉生協の募金920で組合員のカで続いています。

昨年もお渡しできました。

余剰農産物の活用(取り組み⑧)

農家にも組合員にも嬉しい取り組みです！他の生協にも波及しています。穫れすぎて廃棄処分されていたもの、見かけや形の不揃いの野菜や果物を登録組合員にお届けしています。

●たねを守る取り組み

現在日本で販売されている種はほぼすべてがF1(交雑一代種)で毎年種を買う必要があり、農家にとって負担になっています。よっ葉生協では種を採り続けている農家があります。募金920でも組合員から農家へ支援を受け付けています。

●有機農業

種の保存、栽培を行う農家は大きい面積を作っていませんが、よっ葉生協の「登録野菜セット」に出荷して頂いています。大・中・小セットお好みのサイズ、登録が支援につながります。環境再生型農業をともに進めることが、永続可能な「食」「農」「環境」をつくります。

—つくるのが楽しい！食べるのが嬉しい！
お互いの笑顔を見られるすてきな関係をつくって
いきましょう—

顧問 富居

これまで、これから

よっ葉
永続可能アクション

川俣さんの田んぼ日記①田植え編

5月17日、身土不二用コシヒカリや、黒米を栽培している民間稲作研究所の川俣さんの圃場へお邪魔してきました！

民間稲作研究所では循環型有機農業を進めており、自然環境・生物の多様性を大事にし、それを活用していく農法を全国各地で指導を行っています。その田んぼは何か違うのか、体験を通して勉強していきたいと思い、川俣さんをお願いして定期的に田んぼを見せていただけることとなりました。

有機栽培と慣行栽培 何が違うのか・・・

① 育苗が違う！

慣行→葉が約2.5枚でたら田植え開始。川俣さん→約5.5枚出てから植えます。

また、慣行栽培より1か所に植える本数は少ない。

深水管理に耐える大きく丈夫な苗を作ること、農薬不使用でも病害虫に負けない、丈夫な苗になるのです。

② 水を張るタイミングが違う！

慣行→水を張ったらすぐ田植え開始。川俣さん→1カ月前から水を張り2回ほど代掻きをします。

POINT：最初に田にある雑草の種を発芽させる→代掻きをして除草！また、漉き込んで肥料に。

深水管理をすることで、雑草の発芽を抑制して除草剤を使用しない栽培をしています。

長年、有機栽培で米を栽培している川俣さんの田んぼはいったいどんな生物がいるのか、生き物に詳しい川俣さんに案内してもらいました♪

今回見つけた生き物は

イトミミズ（イトミミズ、ユリミミズ）、アマガエル（おたまじゃくし）、トウキョウダルマガエル、ヒメガムシ（成虫・幼虫）、オカメミジンコ、カイミジンコ、ゲンゴロウの仲間、ドジョウの稚魚



田植えが始まる1カ月前には水を張っているため、他の田んぼより生き物が多くなるそうです。

今回は見つけられなかったけれど、絶滅危惧種であるタガメも見ることができそうですよ。

田植え、生き物観察の様子を動画で見られるようにしました。良かったらQRコードで読み込み、ご覧になって下さい。

今後も米が収穫されるまで1カ月間隔で、田んぼの様子や、どんな生き物がいるのか、皆さんにお伝えしていきたいと思います。

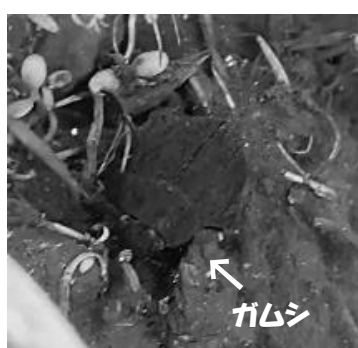
お楽しみに♪

(商品部 間中)

野木町 ササニシキ生産者 館野さんの 米に関わる雑学①♪

「神社の御神前にある四角い紙がつながってあるもの見たことある？あれは『紙垂 沓』穢れを祓い清めるものなんだけど、雷が厄払いすると信じられていたから稲妻に似た形をしているんだよ。雷が多い年ほど稲は豊作。雷の事を稲妻・光を稲光っていうでしょ！雷と稲作は昔から密接な関係なんだよー」。

田んぼ日記①田植え編
YouTube動画(8分26秒)



5月17日(金)

参加してみませんか

<お問合せ よつ葉生協 組合員組織部 TEL 0120-07-1613>

Zoom

生活アートクラブさんから学ぶ 海洋汚染とマイクロプラスチックについて

環境に負荷をかけない、環境を育てるをテーマに私たちに安心な生活雑貨や食品を提案してくれている生活アートクラブさんを講師にお招きし、海洋汚染とマイクロプラスチックの事や脱プラに関するお話をみなさんと学んでいきましょう。(お子さんの夏休みの宿題のヒントになる?かも??)

日時: 7月31日(水) 10:30~11:45 (受付 10:20~)

会場: Zoom

参加費: 無料

定員: 30人

託児: なし

締切日: 7月12日(金)

主催: オンライン委員会



筑西

親子でこんにゃく作り体験

グリーンリーフさんをお呼びして、親子で楽しくこんにゃく作り!こんにゃく芋から手作りします。夏休みの体験にいかがですか?

日時: 8月2日(金) 10:00~12:00 (受付 9:45~)

会場: 関城コミュニティセンター(旧関本公民館)

(茨城県筑西市関本上 1470)

参加費: 組合員 1000円(一組)

一般 1200円(一組)

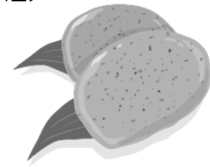
定員: 親子8組

託児: なし

締切日: 7月12日(金)

主催: つくば委員会

<持ち物>持ち帰り用容器(こんにゃく 500g分+煮汁)またはジップロック、三角巾、マスク、飲み物、スリッパ(お子様は上履きなど)



下野

親子で学ぼう! 森のこと、竹のこと! ~自然を守るために私達にできることは?~

いま、日本の森林はどうなっているのでしょうか?

森の整備や植林について知り、その延長にある持続可能な未来の暮らしを一緒に考えてみませんか?(自由研究のテーマにもいかが♪)

生活アートクラブの富士村代表を講師にお招きします。

日時: 7月30日(火) 10:00~12:00 (受付 9:45~)

会場: 新石橋公民館(栃木県下野市石橋 629-1)

参加費: 無料

定員: 30人

託児: なし

締切日: 7月12日(金)

主催: 真岡委員会

※大人1名でのご参加も大歓迎です。



よつ葉文庫

フランスの田舎に 心ひかれて

移住した家族の心地よいライフスタイル

Myna(まいな)



1日で使えるお湯は限られているし、普通ゴミの回収は月に2回、郵便局は週4日の午前中のみで、園医者さんの予約はなんと半年待ち!

それでも住めば都/都会とはまた違った魅力がたくさん

食べもの通信社

新刊登録

NO.1316 「フランスの田舎に心ひかれて」Myna(まいな) 食べもの通信社

グラフィックデザイナーの著者がフランス人の夫とフランスに移住。

日本でも田舎移住で半自給自足生活を送る人が増えています。フランスの田舎暮らしはどうでしょうか。不便と言えば不便で、すぐ出来ないことなどいろいろありますが、不便に合わせるとそれが普通で特別問題は起きていないという。人はやりたいことの為には柔軟になれる気がしました。

写真が多く、フランスだからとか日本だからという感覚が消えそうな本です。どこで暮らしても、人は知恵と工夫と隣人で幸せに生きていけるのですね。

新刊登録

NO.1317 「地球の冷やし方 ーぼくたちに愉しくできることー」

非電化工房 藤村靖之 晶文社

温暖化を食い止めることは責任が重くのしかかって、考える程に現実とのギャップを強く感じます。藤村さんにかかるとは「愉しくできること」がいっぱいあるので辛いことではないと言います。

著者「自立心を磨く」(よつ葉文庫 NO.1275)でお金のかからない生活力を上げることをさらに高めて、多方面への応用と、こんなことが出来るのということを実践しています。科学者だから理にかなっている裏付けもとれます。

衣・食・住、全てアイデア満載で、カラー写真で詳しく説明しているので、「これなら出来る?」と誘われます。非電子工房の負担にならない考え方と実践は、きっと幸福度が上がります。

2011.3.11で放射能測定機をお願いしたところ、通常の1/3の金額で作ってくれました。ほぼ部品代でしたが、すべて手作りだと、余計なお金は回さないのは生き方そのものです。

(顧問 富居)



第12回 定例理事会報告 6月5日(水)

《報告・協議事項》

- (1) 2024年度ふれあいまつりの日程について
第33回ふれあいまつりの日程(2024年11月23日(土) 小山総合公園第3駐車場)について提案され承認されました。
- (2) まんまの会(サークル)、ミモザの会(専門委員会)への申請について
専門委員会「まんまの会」をサークルへ、サークル「ミモザの会」を専門委員会「ミモザのいと食の委員会」への組織変更申請について提案され承認されました。
- (3) 就業規則、賃金規程第14条(役職手当)の見直しについて
就業規則の賃金規程第14条(役職手当)を現状の職責に合わせ見直しする改正提案され承認されました。

(4) 5月度 組合員活動会議報告

- ① ミモザの会委員会移行について
- ② 活動の担当者決定について
- ③ 委員会サポートチームで運営ガイドブック(委員さん用)を作成開始しました。
- ④ よつ葉だよりに関して、各担当者と意見交換しました。
- ⑤ アップルファームさみず産地訪問ツアーについて
- ⑥ 6/1(土) しおや農業体験について

●5月度事業実績

組合員数	27,143名(5月20日現在 前年比100.3%)
	加入155名 脱会120名
供給高	355,249千円(前年比99.3%)
	2024年4月～累計730,827千円(前年比99.1%)

文化イベント情報 ■各イベントのお問い合わせは、直接主催者または連絡先をお願いいたします。


鹿沼 NHK・Eテレ「すくすく子育て」出演
●イベント 大豆生田啓友先生講演
いまどきの子育てで大切なこと

●日時 7月20日(土) 13:30~15:00(受付13:00)
 ●会場 鹿沼市民情報センター マルチメディアホール
 (栃木県鹿沼市文化橋町1982-18)
 オンライン(ZOOM)同時開催!

●参加費 1000円(会場、オンライン同額)
 ●定員 120名
 ●託児 1歳~未就園児1名につき500円 ※定員あり
 *会場後方に乳幼児連れの方専用スペースをご用意

●申込み 5月20日(月)~
 QRコードよりお申込みください

●主催 栃木県子ども劇場おやこ劇場協議会
 ●問合せ NPO法人鹿沼ファミリー劇場
 TEL 0289-63-1766
 FAX 0289-63-1768
 MAIL tochigi.kenkyo.utk@gmail.com



🌸 組合員さんの声 🌸

NO.791よつ葉だより、よつ葉文庫について SNSで「関心領域」という映画の宣伝をみました。アウシュヴィッツ強制収容所の隣に住む家族の物語で、映像は何げない日常なのに遠くにピストルの発砲音や人の叫び声が聞こえ恐怖心をあおるそうです。白河市の博物館、避暑がてら行ってみたいと思います。
 (筑西地区 M・Hさん)

よつ葉太陽光発電報告

〇4月24日から5月23日(30日間)の太陽光発電量は、6,004kWhでした。CO2削減量は1,888kg(18Lの灯油缶を79本燃焼した量)です。

那須塩原 第57回2024年
●イベント 栃木県母親大会 in なすの
オープニング 劇団なすの「那須の大地」より
開墾事業の歴史を歌と音楽と語りで伝えます
記念講演「世界で最初に飢えるのは日本?!
本気で自給率向上を
講師:鈴木 宣弘さん 東京大学 大学院特任教授

●日時 7月21日(日) 12:30~16:00(受付11:30)
 ●会場 那須塩原市 黒磯文化会館・小ホール
 (大正堂くろいそみるひいホール/栃木県那須塩原市上厚崎490)

●協力券 1000円 手話通訳付(高校生以下無料)
 どなたでも参加できます。男性の参加も大歓迎。

●保育申込先 TEL 090-8813-3601(渡辺)6月30日締切
 ●主催・問合せ 第57回栃木県母親大会 in なすの実行委員会
 TEL 0282-25-7046

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (6月2週分)
 ご協力ありがとうございます。
 組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位:円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	4,300
震災孤児を支援する募金 (910番)	16,300
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	4,300
合計	24,900

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。
 WEB注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。
 一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮1223
 ☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101
 HP <https://yotsubacoop.jp/> メールアドレスが変わりました
 よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

